

1: 出席者

加藤^a・大西^b・能登・平林・吉田^c・セルゲイ^c・須田^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 特別会計中間ヒアリングの審査を無事終了した。(加藤)
- 1月27日に東工大で特会のミーティングが開かれる予定である。(加藤)
- ワーキンググループの議事録の報告。(能登)
- GSYS に関する Progress Report の原稿を原研に提出した。(簀口、代理報告：吉田)
 - 新井氏が GSYS の改良を進めている。
 - 論文として学術雑誌に投稿することを検討している。
- CINDA へ登録する論文(2004年7月から12月まで)が9編となった。(セルゲイ)
- 天文データベースに関する Progress Report の原稿を原研に提出した。(須田)

3: 議論

- GSYS の公開について
 - GPL に従って公開・配布を行なうこととした。
- 新規コードについて
 - FM**6/MEV : 承認とする。
- McLane 氏来札時のスケジュールについて
 - シンポジウムを開催し、コーディングに関する講演をしてもらう。
 - 2月14日(月)を開催予定日とする。

• 年次報告の内容と筆者に関する案

内容	著者
- 巻頭言	能登
- McLane Symposium の報告	
- ND2004 の報告	大塚
- DARPE の発展	セルゲイ
- SPES の開発	須田
- SPES-J の開発	須田、内藤
- GSYS の開発	新井、簀口、大塚、内藤
- NRDF から EXFOR への変換状況について	大塚、吉田
- NTX ワーキンググループ報告書	能登、加藤、大塚
- CINDA の報告	セルゲイ、大塚
- IAEA annual meeting 報告	大西、大塚

- 入力データ報告

- 議事録

原稿締め切り : 3/23

印刷部数 : 20 数部

4: 次回

2005 年 2 月 28 日 18:30~